

## 念頭のご挨拶・・・3つの観点から賃金統計を観る



皆様、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

昨年は老舗食料品メーカーの日付・産地等付け替え問題が大きなニュースになりました。そしてその問題発覚のきっかけのほとんどが、社員からの通報だったという事がわかっています。通報した社員にしてみても、会社への想いと、社員としての社内での立場、そして自分の倫理観の間でずいぶん苦しんだ、その末の「通報」という選択であったろうことが想像され、胸が痛みます。

西遠労務協会では、「経営」「法律」「人の気持ち」のバランスの大切さをお伝えしていますが、まさにこの問題は、「経営(利益)」のみに意識が向き、「企業としての当然守るべきルール」や「そこで働く人達の気持ち」をすっかり忘れてしまっていた、それゆえの事件と言えるでしょう。

さて、弊社では昨年秋から地元浜松周辺企業を対象とした「実在者賃金」データの収集と統計作りを始めております。公的統計を見ても数字の羅列であって今ひとつピンと来ない、実態をどの程度表しているのか不明、という状況があるからです。けれども、この統計とその作成プロセスへのかかわりは、単に「金額がわかる」というだけでなく、実は「経営」「法律」「人の気持ち」のどの観点からみても非常に大きな意味を持つのです。

### 1)「経営」の観点から

単に利益だけを考えるなら、人件費は抑えるにこしたことはありません。けれども万一方向性もなく人件費削減を実行したとしたら、いたずらに働く人達の意欲の低下や離職を招き、結局は大きな損失となってしまいます。この賃金統計を指標とすることにより、たとえば「やっぱりうちは残業代がかかりすぎている」「若手の固定的な金額はもっと増やさないと」など、人件費の有効活用・有効分配を実現する上での課題が明らかになります。

### 2)「法律」の観点から

賃金データをご提供いただいた企業様には、ご要望をうかがい簡単な解説をさせていただいております。そしてそれは、金額そのものの他、「これだけは早急に修正が必要」という「法律的にマズイ部分」についても指摘をさせていただきます。企業内部にいと、この「これはマズイ」という事自体、なかなか気がつかないもの。データをご提供していただいた場合の「一言賃金診断」は「法律との整合性確認」にも大いに活かしていただけます。

### 3)「人の気持ち」の観点から

「十分な給料をもらっている」「たくさん払ってくれてありがたい」と思っている社員は残念ながら非常に少ないのです。「うちの社長はケチ」「自分はずっともらっていいはず」などの言葉を耳にした経営者は、「本当に少ないのだろうか」と不安になってしまいます。そこでこの統計の出番、この数字をみれば、自社の賃金が周辺企業と比べてどこがどうか、毎月、賞与は、年収は、が明確にわかります。それにより自信を持って賃金決定をしていただくことができます。また社員に対しても胸を張って「わが社はしっかり出している」と言うことができるのです。社長の自信のなさはすぐに社員に伝わるもの、この統計を指標としていただくことで社長も社員も安心、納得できるのです。

このように、企業経営に大きな意味を持つこの「浜松周辺企業の賃金統計作成」は、地元企業の皆様のご協力があってこそ、のものです。2月15日・22日の「浜松の賃金バージョン2」セミナー(詳細はHPにて)における中間発表を前に、ぜひとも皆様のお力をお貸しください。なお、データをご提供いただける場合の手順はHP又はお電話(053-436-1033)にてご連絡をさせていただきます。新年早々のお願いですが、なにとぞご協力を！ 平成20年1月7日 山口悦子

## ◆◆◆小澤幹子

いよいよ平成も20年目の幕開けです。皆様には幸多き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、一年を表す漢字が「偽」、そんな昨年は企業倫理の問われる厳しい一年であったと思います。「今までこうやって何とか生きてきた。」「違法は承知だけど業界ではこれくらいは常識。」こういった考え方をしていた経営者が次々と新聞やテレビに登場し、謝罪している姿を見るたび、憤りを感じる一方で、少しでも法に携わる仕事をしている自分にも、どこか身の引き締まる思いを感じた一年でした。

今年の私のテーマを漢字にすると「冴」。ややもすると体も心もまあーるくまあーるくなりがちの今日この頃の私ですが、身も心も少し尖がって「冴えてるね！乗ってるね！」と言われる一年にしたいと思っています。どうか本年も変わらぬご厚情を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



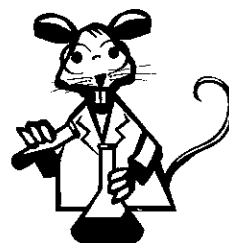
## ◆◆◆松本光司

あけましておめでとうございます。

父親の影響から毎年正月の「箱根駅伝」は欠かさず見えています。そこで、今年最初に衝撃を受けた出来事として、昨年優勝の順天堂大学が往路5ゴールまで500mの所で「たすき」が途絶えてしまったことでした。元来、映画の名場面やスポーツ選手が頑張っている姿を見ているだけで激しく感動するたちなので、この「たすきが途絶える」場面を目にして涙しました。もちろん前年優勝校だからと言って順風満帆ではなかったと思いますが、1年間の血のにじむ努力と出走できることの喜びが報われず、また次の選手にたすきをつなげなかった無念さを思うと…。病院に運ばれる途中「残りどのくらいでしたか？」と問う選手に「また来年頑張ればいい。だれも責めたりはしない。」と声をかけた監督…どんな思いで来年を目指すのでしょうか？負けるな！！頑張れ！！

長々と書いてしまいましたが、人を感動させられる仕事をすることは大変なことです。自分もそんな仕事ができればと痛感しました。

本年もよろしくお願いいたします。

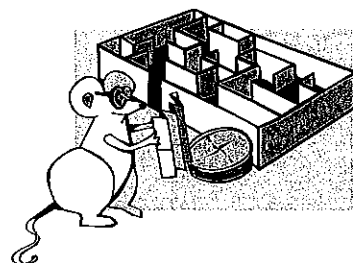


## ◆◆◆山本晶子

明けましておめでとうございます。

「一年の計は元旦にあり」今年の決意は、『10年後の自分に向かって』10年後どういう自分でありたいか、そのために今何をやらなければいけないのか、最終目標、中間目標、1年の目標、毎日の計画、それを実行できる強い意志が必要です。まずは、ムダのない1日を。最近、今日やらなければいけない事を書き出し、時間配分して仕事をしています。やりたい事、やらなければいけない事はいっぱいあるので、書き出してみると気合が入ります。すべてをやり終わると達成感と充実感を味わえて気持ちがいいです。皆様もぜひやってみてください。夢は大きく、向上心をもって前に進んでいきたいと思っています。

本年もよろしくお願いいたします。



### ◆◆◆阿隅朝子

新年あけましておめでとうございます。

年末からの凍りつくような冷たい空気に、身も心も引き締まる思いで新年を迎えました。良いことにしても良くないことにしても、ひとつの区切りをつけるという意味で、新しい年に自分の心を新たにすることは、とても気持ちの良いことですね…。

自分はどちらかというとな楽な方へ流れてしまいがちなのですが、初心を忘れずに、常に自分に厳しく！やり慣れた仕事も確実に、又初めてのことにあたっては努力を惜しまず積極的に、取り組んでいけたら…と思っています。

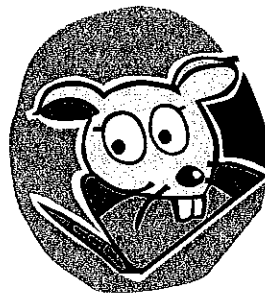
本年もどうぞ宜しくお願い致します。



### ◆◆◆小山直美

明けましておめでとうございます。

私事ですが、新年早々に十数年ぶりの同窓会がありました。同窓会の通知が届いた時、楽しみというより、実は（連絡もとっていないし会うのは不安…それに面倒だな…）と思っていました。今までの私なら辞めていたかも…。そうです！今年の目標は「一步を踏み出す」です。同窓会も参加してみれば、同窓生との話に花が咲き、また刺激を受け自分への活力を得るすばらしい時間となりました。仕事でも、積極的に新しいことへ挑戦！今までより一步踏み込んだ取り組み、勉強、アドバイス！今年の年末は、一步成長した自分に出会えるのでは…と思っています。



### ◆◆◆周 莹

明けましておめでとうございます。

最近、よく耳にするのは環境問題です。海に沈む島々、溶け去る氷河等…。それは、われわれ人間が長年自然を破壊した結果です。言い換えれば、人々が真「心」こめて自然を愛用していなかった結果とも言えます。何事でも「心」を持って対応すれば、自ずと良い結果につながると思います。

これから、私自身が古い物の再利用、エネルギー節約等、自然に良いことを今以上にやるのがもちろんですが、仕事に対しても真「心」を持って対応し、いつでも「初心忘るべからず」をモットーにして頑張っていきたいと思えます。

